

ふじさわ・九条の会ニュース



NO24

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP http://fujisawa9_hp.infoseek.co.jp/

沖縄の米軍基地は、なぜ、憲法九条を持つ日本に存在し続けるのか？

今、沖縄の基地移転問題が大きな問題となっている。沖縄の巨大な米軍基地は、何故、憲法九条を持つ日本に存在し続けるのか？皆さんの疑問に答えるべく、今回は、この問題について調べてみた。

<戦後のアメリカの沖縄政策>

去る3月6日、米国防省のケビン・メア日本部長の「沖縄はゆすり、たかりの名人」との発言こそ、米国の戦後の沖縄基地の本質を現わしていると言える。アメリカは1945年の沖縄戦で、沖縄を全面占領し、1952年のサンフランシスコ平和条約まで7年間軍政下に置き、更に1972年の沖縄返還まで20年間アメリカの施政権の下におかれた。この米軍統治の27年間の間に、沖縄は「銃剣とブルドーザーによる土地接収」によって広大な米軍基地が建設された。

<沖縄の米軍基地の数>

現在、沖縄には38の米軍基地がある。



海兵隊基地～普天間基地を中心に17基地
空軍基地～嘉手納基地を中心に8基地

海軍基地～キャンプ・シールズなど8基地
陸軍基地～4基地 となっている。

<沖縄返還後も米軍基地は残った>

1972年に沖縄返還が行われたが、米軍基地はそのまま残されてしまった。特に、アメリカ統治下の27年間に朝鮮戦争、ベトナム戦争があったために、沖縄は、アメリカの重要な世界戦略基地と位置づけられ、基地の拡張、基地機能の強化が図られたのである。

<現在の、沖縄米軍基地の位置づけ>

沖縄の米軍基地は、沖縄返還後も安保条約によってそのまま残される事になった。沖縄基地は、「日本防衛」からアメリカの世界戦略基地に変質している。こうした基地移転費用まで日本が持たなければならないと言うことは、どういう事か。先に見たメア氏の発言は、米国への基地の提供は日本の義務とする統治時代の論理が今も変わらない事を示すものである。

<日本は、沖縄の基地、北方領土を取戻し、九条を活かした平和外交を進めるべき>

現在の沖縄の状態は、日本の憲法九条が全く適用されていない戦後の占領統治と同じ状態が続いている。北方領土も、依然ロシア（旧ソ連）に占領されたままである。沖縄の米軍基地を返還させ、北方領土を取り戻して、初めて、日本の戦後状態が終わったと言えるのではないか。一日も早く戦後状態を解消させ、その上に立って、日本は、憲法九条を活かした積極的平和外交を進めるべきである。（文責 小林麻須男）

一忘れまい、藤沢における戦争の記憶一

今まで藤沢には戦争は無かったかのようでした。しかし、実際には下の地図に見るように、海軍の基地や通信隊があり、軍需工場もありました。アメリカ軍機による機銃掃射も受けました。現在は、こうした施設は工場や、学校に敷地として使われていますが、かつてはこうした軍事施設であったことを覚えておくことも大切です。

米軍のコロネット作戦が 実行されたら

アメリカ軍は、沖縄を占領した後、日本を降伏させるために「コロネット作戦」を計画しました。それは100万ものアメリカ兵を相模湾に上陸させ、長い戦争に決着をつけようとしたのです。もし、この作戦が実行されたら、藤沢も沖縄と同じように破壊され、たくさんの方が亡くなったことでしょう。

<戦争中・藤沢にあった軍事施設>



終戦直後、江ノ島沖に見たものは目の前に想像もつかない光景が広がっていてびっくり。当時は写真も禁止でしたから、あんまり見た人は少なかったのではないのでしょうか。

それは、江の島沖の水平線を埋め尽くす米連合艦隊の姿でした。本土上陸のため待機していた軍艦だったのでしょう。ただ、夜になると白い赤十字の病院船がイルミネーションで浮き上がり、美しく輝いていました。と現場を目撃した安江さんは、話していました。

(9の日行動チラシより)

2月15日、菊谷さんを招いて 安保問題学習会実施



天候の都合で実施出来なかった秋(10月3日)の安保問題学習会を2月15日、藤沢産業センターで実施しました。講師は、神奈川平和委員会理事長の菊谷節夫さん、「どうする日米安保 ほんとに必要? 米軍基地」と言うテーマで講演して頂きました

もう1度日米安保や米軍基地についてしっかり学んでいこうと企画したものです。

私の戦争体験記 一第5集一 原稿募集

65年前の敗戦を予感した人は、12月8日の戦争が始まった日をどの様な気持ちで迎えたのでしょうか。ある程度予測をしていたと思えますが、勝つ事だけを念頭においていたのでしょうか?まさか4年後の8月15日に敗戦をむかえるとは思っていませんでした。もし、その頃のこと(始まった日、戦争中、終戦)を体験した方がいらしたらぜひ原稿にして送って下さい。私達の日本が世界が人為的なことで悲しむことのないよう。(永田)

締め切り 7月末

字数 1500字位

発行 10月予定

受付 ニュース担当又は事務局まで

3月2日(水)

長後地区で、一斉大量宣伝行っ

昨年秋の善行団地一斉大量宣伝に続き、3月2日(水)長後地区でチラシを配布をおこないました。集合場所には、ミアクチーナ長後駅前店



生協長後店)のコミュニティールームをお借りしました。参加者は27名、地元長後地区の方と2人一組で約3000枚配布をしました。ふじさわ・九条の会は、日頃、九の日行動として、駅頭での宣伝活動を行っていますが、駅周辺ばかりでなく、地域にも九条の会の運動を知らせようと、一昨年来地域一斉宣伝行動を行い、今回が4回目でした。チラシ配布終了後、みんなで懇親会を行い、記念撮影して散会しました。

今年の成人式は、江の島水族館で 新成人に9条のシオリ配布



例年藤沢の成人式は、市民会館で実施されていましたが、今年は江の島水族館で行われました。天気も良く、和服姿の女性が沢山見られました。皆、通路を歩いてくるので、予定していた九条

のしおり配布は、あっという間に終了してしまいました。若い人たちが、九条の担い手になってくれよと念じつつシオリを配布しました。

2月の9の日行動で

トトロの折り紙を教える



藤沢サンパール広場で、2月の9日行動をやっていたところ、会員が配っていたチラシとトトロの折り紙を貰った女の子にトトロ折りを教える金子さん一紙を貰った女の子に、トトロの折り方を教えて欲しいとせがまれ、会のメンバーの金子さんが、教えてやりました。とても器用な女の子で、すぐ折り方を覚え、何個か折ったトトロを持って帰って行きました。9の日行動では、毎回平和のシンボルであるトトロの折り紙を、チラシと一緒に配っています。毎回、400~500個必要なので、トトロ折りにご協力頂ける方は事務局までお声をかけて下さい。

九条の会のカンパ要請に

ご協力ありがとうございました

ふじさわ・九条の会は入会時の賛同金以外会費は徴収しておらず、催し物等の収益金や皆様のカンパで活動費を補っております。1月にニュースと一緒に送りましたカンパ要請に対し大勢の方から多額のカンパをお寄せ頂きました。振込用紙の添え書きに「集会、講演会には出席出来ないことが多く申し訳ないですが、9条を守る熱意は皆様と同じです」「九条の会のご活動心より賛同申し上げますが悲しいかな高齢で何のお助けにもなりませんので賛同金として入金させていただきます。外でのご活躍に役立ててくださいませ」(91歳)「いつもニュース読んでいます」とのメッセージも寄せられました。みなさまの貴重なカンパと温かい応援のお気持ち、本当にありがとうございました。(会計 島田)

ふじさわ・九条の会

6周年記念のつどい

ふじさわ・九条の会 6周年

憲法記念講演 & **ピースパレード**

2011年5月14日(土)
 記念講演 13:30～(開始15:00)
 ピースパレード 15:45～
 藤沢市民会館 小ホール
 参加費 500円(当日券700円)

「日本の花」舞踏団によるエイサー
 「アフロ湘南」によるアフリカ太鼓ジャンベの演奏

講演「日本の進路と憲法九条」
 渡辺 治 (わたなべ おさむ) さん
 1945年東京生まれ。東京大学法学部卒業。1973年4月同大学社会科学部専任助手。助教授を経て、1994年より一橋大学教授。現在は一橋大学名誉教授。専門は、政治学、日本政治史、憲法学。2004年より「九条の会」事務局。『日本国憲法「改正」史』(日本評論社)など著書多数。

主催: ふじさわ・九条の会 連絡先: 斎藤 (0466-35-0704)
 共催: ふじさわ・九条の会 永田 (0466-34-1926)

5月14日(土) 13:30～16:00

市民会館小ホール

記念講演 渡辺治さん

ピースパレード 市民会館～さいか屋

参加費 500円(当日券700円)

今年は記念講演と合わせて、市民会館から藤沢駅北口までパレードを行います。ふじさわ・九条の会としてのパレードは、今回が初めてですが、きれいに飾り付けた車を先頭に、ポスター・横断幕、歌舞団も加わり、楽しく賑やかなパレードにしたいと思います。パレードの距離もそんなに長くは無いので、大勢参加し、ふじさわ・九条の会と憲法九条をまもる大切さを、市民の皆さんに、アピールしましょう。

<九条の会の活性化をもとめて>

第6回全体集会 (5/29) を迎えるにあたって

事務局長 斎藤隆夫

「ふじさわ・九条の会」は結成6年が経ちました。この間さまざまな活動をしてきました。毎回独自チラシをサンパール広場などで撒く「9の日行動」、「周年記念集会」、「講師を招いて学習会」、地域を決めて集合住宅中心にチラシを撒く「一斉大量宣伝行動」、世話人会議での「ミニ学習会」、年4回のニュースや戦争体験記の発行、映画「日本の青空」上映会などです。また藤沢市内7つの「地域九条の会」との連携した活動も「九条の会の活性化」に繋がってきました。

しかし全国的な傾向でもありますが、「ふじさわ・九条の会」の賛同者数はここ3年間横ばいです。これは「ふじさわ・九条の会」の活動の在り方が問われているものと思われます。上記のような生の人と人との繋がりを中心にした活動はこれからも大切でしょうが、「ふじさわ・九条の会」が組織的に発展していくには、この「人と人との繋げ方」を変えていく必要があります。今、求められているのは、これまでのアナログ的な活動を土台にしながらも、更に、インターネットを活用して賛同者相互の意見交換をすすめたり、一般市民にむけてさまざまな問いかけをしたりすることではないかと思います。

全体集会で大いに討論しましょう。

日時: 年5月29日(日) 14:00～16:30

場所: 湘南台公民館第一談話室(地下一階)

<今後の主な日程>

- 4月9日(土) 13:30 9の日行動サンパール広場
- 4月11日(月) 13:00 原発事故学習会推進センター
14:30 6周年実行委員会 //
- 4月18日(月) 14:00～事務局会議 //
- 4月28日(木) 18:30～世話人会議 //
- 5月3日(火) 10:30～12:00 憲法記念日チラシ配布 藤沢駅サンパール広場
- 5月14日(土) 13:30 6周年の集い市民会館
- 5月19日(木) 13:30 世話人・事務局合同会議
- 5月29日(日) 14:00～全体集会湘南台公民館
- 6月9日(木) 13:30 9の日行動サンパール広場